

令和5年度第1回豊山町DX推進本部会議議事録

1 開催日時

令和5年6月21日（水）午前10時から午前11時30分まで

2 開催場所

豊山町役場3階 会議室5

3 出席者

- (1) 推進本部長 副町長 伊井誠
推進副本部長 企画調整部長 小川徹也
推進本部員 総務部長 堀尾政美
生活福祉部長 井上武
産業建設部長 高桑悟
教育委員会事務局長 安藤憲司
議会事務局長 鈴木雅之
- (2) 事務局 デジタル化推進室 室長 井戸茂治
主任 金田直也

4 議題

- (1) 豊山町DX推進計画及び体制について
- (2) 取組の確認について
- (3) 生成AIについて

5 会議資料

- 資料1-1 DXをめぐる主な動き
- 資料1-2 豊山町DX推進計画（概要）
- 資料2-1 主な取組内容のロードマップ（令和5年分）
- 資料2-2 DX推進スケジュール
- 資料3 生成AI活用の検討について

6 会議内容

事務局	定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第1回豊山町DX推進本部会議を開催いたします。 本部長副本部長および本部員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席いただき、誠にありがとうございます。
-----	--

	<p>それでは、本日の会議資料のご確認をお願いします。</p> <p>(配布資料確認)</p> <p>以後の取り回しについては本部長にお願いいたします。</p>
推進本部長	<p>令和4年4月1日にデジタル化推進室を設置し、令和5年2月28日にDX推進計画を発表しました。並行して今年度の予算から、その計画に基づく諸事業が始まっている状況です。</p> <p>この推進本部会議はDX推進に係る意思決定や、計画の進捗管理をする組織です。これからは適宜本部会議が招集されますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは議題1「豊山町DX推進計画及び体制について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(議題1を説明)
推進本部長	今の事務局からの説明に対して、本部員の皆さんからご質問があれば、ご発言をお願いします。
推進本部長	簡単に整理をすると、資料の1-1の左側にSociety5.0とあります。内閣府の定義によると、Society4.0は情報社会です。内閣府はSociety5.0を、現実社会と仮想空間が一体となって、社会問題の解決と経済発展を実現する社会と定義しています。リアルと仮想現実が一体となっていくような社会です。Society5.0は情報社会の次の社会です。このことはとても大事だと思うので、本部員の皆さんと共有したいと思います。
推進本部長	<p>DXは、単なるICT化やデジタル化ではありません。Xはトランスフォーム、つまり「変容・変革」です。</p> <p>デジタルを使って、Society5.0を目指していくというものです。もちろん情報化をするか、あるいはデジタル化をする作業はありますが、それが目的ではなく、その先を目指していくのがDXの推進計画です。</p> <p>資料1-2の4「めざす姿」で「だれもが快適・便利に暮らせるまち豊山」をあげています。つまり、豊山町DX推進計画は、ICT化が目的ではなくて、こういう社会を実現することが目的ということです。Society5.0の豊山なりの定義ということです。このことについて、我々意識のすり合わせをしなければいけないと思いますのでよろしくお願いします。</p>
推進本部長	<p>DX推進計画のポイントはもう一つあり、PDCAで回すことが計画に位置づけられています。つまり我々推進本部でモニタリングをしながら直していくべきということになります。</p> <p>現在、新聞紙上で生成AI「ChatGPT」等が大きな動きとして出てきています。我々が作った計画には「AI」については記載がありますが「生</p>

	成A I」については記載がありません。 資料1-1には計画策定以降の動きも記載をしていますので、世の中のDXを巡る動きを、リアルタイムでチェックしながら計画を見直していく。このような作業もこの場でやっていく必要があると思いますので、ご理解をしていただければと思います。
推進本部長	この会議は冒頭私がDX推進に係る意思決定と、計画の進捗管理を行うと言いましたが、そういう位置づけとってよろしいですか。
事務局	はい。
推進本部長	推進本部ではそのような役割を担っておりますので、よろしくお願ひします。他に何かご質問があれば、ご発言ください。
推進本部長	推進本部で進行管理をしていく説明がありましたが、何か住民から意見を求める機会がありますか。
事務局	必要に応じて機会を設けたいと考えております。
推進本部長	マイナンバーカードがいろいろ問題になっています。マイナンバーカードの活用も計画にあります。点検は何かやりますか。
事務局	国から通知文等が出ており、それぞれの担当で確認しながら進めている状況です。
推進副本部長	マイナンバーに関する全体のコーディネートについてはデジタル化推進室で行い、個別の業務は各課が行い、万が一全庁的に問題があったりしたら、本部会議の方に報告してもらい対策を講じていくこととなります。
推進本部長	そうでないとうまくいかないと思います。そのようにお願いします。
事務局	分かりました。
推進本部長	では議題2「取組の確認について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(議題2を説明)
推進本部長	ICT監理アドバイザーは、民間の事業者の方ですか、国の機関の方ですか。
事務局	総務省の地域情報化アドバイザー、総務省のICT地域マネージャーとして活躍しており他の自治体でもアドバイザーとして活躍されている方です。 ICT監理アドバイザーはデジタル化推進室のもと、DXとは別次元のICT部分のアドバイスをいただくために設置をしています。
推進本部長	県がデジタル人材を採用して市町村に派遣する話がありましたと思いますが、今後その制度は使っていきますか。
事務局	国が進めている制度ですが、県においてはまだ制度化されていないです。制度化されれば、活用を検討します。
推進本部長	ワーキンググループは役場職員5人で構成ということになっています。

	例えば議会事務局はワーキングには入っていませんが。
事務局	ワーキングメンバーは今年度の事業内容から関係する担当課から選任しています。今後の事業内容により必要であれば追加を検討します。
推進本部長	必要があれば追加しますが現時点では必要はなさそうということですね。
推進本部長	議題3「生成A Iについて」説明をお願いします。
推進副本部長	(議題3を説明)
推進本部長	生成A Iについてわからない人がワーキンググループを構成することになると思います。勉強しながら進捗管理をしっかりとさせていただくようお願いします。
推進本部長	生成A IのワーキンググループはD X推進のワーキンググループとは別のものと考えればいいですか。
事務局	未定です。
推進本部長	ワーキンググループは5つのワーキンググループができるというイメージですか。
事務局	1つのワーキンググループで構成員が5人です。
推進副本部長	生成A Iは違うメンバーで構成する方がいいかもしれない。
事務局	分かりました。
推進本部長	生成A Iのガイドラインを作成するという話ですが、豊山町の情報セキュリティポリシーの方の見直しも必要ではないですか。新入職員も毎年入ってくるので、ガイドラインの作成だけではなく職員のITリテラシーも向上しないといけないと思います。こちらについても、よろしくお願ひします。
推進本部長	生成A Iのワーキンググループはどう検証するのですか。
事務局	業務で何に使えるのか、何に気を付ければよいのかを体験できるよう、実際に利用して検証していただく予定です。
推進本部長	約款型外部サービスは無料で使えますか。
事務局	生成A I提供サービス事業者によって違い有償版もあります。今回の実証実験はMicrosoftの「Bing AI」の利用を考えており、こちらは無償で利用でき、また生成されたものの情報ソースが確認できるため、より検証しやすいと考えております。
推進本部長	無償で使えるものをインターネット専用端末で使って、ワーキングメンバーに使用していただくことですね。
事務局	そのとおりです。

推進本部長	全体をとおして質問です。この推進本部会議は計画の進捗管理と意思決定ということですが、例えば傍聴したいという人が出てきた場合、どんな位置づけで行きますか。
事務局	議事録を公開していきたいと考えております。
推進本部長	例えば町民の方が傍聴したいとなれば、許可をするということですか。資料等については公開するが、この場の参加は許可しないという方法もありますか。
事務局	この会議は庁内会議でありますので傍聴することは考えておりません。ただし、議事録については公表していくこととしております。
推進本部長	ワーキンググループは案では5人となっておりますが、関係しそうな部署からは呼んだ方がいいと思います。人数は必要に応じて検討してください。
事務局	分かりました。
推進本部長	今日のこの会議はこれで閉じたいと思います。ありがとうございました。